

5. 診 療

1) 病院概況

(1) 本 院 (院長:丸毛啓史、副院長:小川武希、中川秀己、相羽恵介、井田博幸、浅野晃司、高橋則子、事務部長:植松美知男)

(1) 患者数

① 外来1日平均患者数:2,928名 (対前年度比-54名)

② 入院1日平均患者数: 894名 (対前年度比-4名)

(2) 病床利用状況

平成25年度の病床利用率は稼働床1,051床に対して85.1% (昨年比-0.4%)、平均在院日数は、11.1日 (昨年比-0.2日)であった。

(3) 患者紹介率

平成25年度の紹介率は年間平均で医療法58.2% (昨年比+3.6%)、保険法46.8% (昨年比+2.9%)であった。

(4) 初期臨床研修

平成25年度採用者は医科47名 (内訳:本学卒15名、他学卒32名)、歯科3名の計50名であった。

(5) 行政監査・指導・検査

① 医療法第25条第1項による立入検査 (東京都) (平成25年12月4日)

② 医療法第25条第1項による特定機能病院の立入検査 (関東信越厚生局)
(平成25年12月4日)

③ 精神病院等実地指導 (東京都) (平成25年12月4日)

(6) 先進医療 (高度医療含む)

新規申請・承認 (申請1件、承認0件)

① 自己心膜を用いた拡大僧帽弁形成術 (心臓外科) 申請中 (他施設共同試験)

(7) 臨床研究、保険適用外診療 (平成25年度審査状況)

承認件数:再審査6件、新規申請174件、変更申請 (期間延長など) 125件

(8) 病院改修について

・中央棟14階1401室、1416室陰陽圧化 (平成26年3月6日)

(9) 地域がん診療連携拠点病院について (腫瘍センター事務局)

腫瘍センター事務局として地域がん診療連携拠点病院の指定要件整備と機能強化を推進した。4月には緩和ケア外来が開設され、外部からの紹介を含む外来患者の受け入れを開始した。その他、院内がん登録3,579件、がん相談1,087件、がんの普及啓発事業として公開市民講座3回、腫瘍センターサロンへようこそ (がん患者とその家族の語らいの場 (含むミニ講座)) 7回の実績を残した。

(10) 「東京慈恵会医科大学附属病院年報」の発刊について

平成24年度版を平成25年10月に発刊した。配布部数約1,000部。(配布先:学内各部署、名誉教授、客員教授、学術連絡員、同窓会支部長、本学協力病院・関連病院、連携病院、全国医学部附属病院等)

(11) 院内感染対策

① 病棟ICT活動の推進により一般病棟の感染対策を推進

病棟ICTを立ち上げ、各病棟年2回のミーティングを開催し、ICTと現場が協働して感染対策に取り組む体制整備に努めた。その結果、下記データの通り改善し目標達成できた。

・手指衛生指数12.47 (昨年度より22.85%増)

・MRSA院内 (不明含む) 獲得率0.30 (昨年度0.33より減)

・MRSA菌血症14件 (昨年度17件より減)

② 教育の継続

感染対策ベーシックレクチャーVer.4を15回開催し、1702名の出席があった。また、医局会などの出張勉強会を計68回開催し、合計7311名の出席があり、今年度も感染対策研

修の未受講者が0名となった。

- ③ 医療安全との連携—クロスモニタリングを推進する—
感染対策ベーシックレクチャーにおいて、クロスモニタリングを推進するキャンペーンを行った。
- ④ 感染症診療の適正化へ全病院的な取り組み
ICT薬剤師が中心となり、血液培養陽性例・広域抗菌薬投与例・長期抗菌薬投与例のラウンドを実施し、適正使用の推進を行った。
- ⑤ 医療関連感染対策
消外・肝外・心外・整形においてSSIサーベイランス実施、ICUにおいてCLABSI・VAPサーベイランス実施、透析室において短期透析カテーテルCLABSIサーベイランスを実施した。
- ⑥ 職業感染対策
針刺し・切創事例75例（昨年度74例）、皮膚・粘膜汚染事例22例（昨年度14例）と増加している。職種別に分析するとレジデント・研修医が25例（昨年度15例）と特に増加しており、対策が必要である。
- ⑦ 結核
結核事例に伴い、患者30名に対し接触者健診を実施した。入院時の見逃しを防ぐために、入院時感染症チェックリストを作成し運用を開始した。
- ⑧ ファシリティマネジメントの推進
環境ラウンドを各現場年2回実施した。清掃業者も一緒にラウンドし、現場の問題点の共有に努め、改善に繋げた。
- ⑨ 病院感染対策の向上
4病院ICT会議を隔月実施し、各病院の問題点や事例の共有を図った。また、昨年度同様サイトビジットを実施した。
- ⑩ 私立医科大学感染対策協議会事務局・推進会議事務局としての職責を果たす
総会、運営委員会、各専門職部会等の運営について中心となり活動を行った。
- ⑪ 感染防止対策加算病院との連携、支援を行う
地域連携カンファレンスを8病院と年4回実施し、東急病院、済生会中央病院、柏病院と相互ラウンドを実施した。

(12) 保険関係承認・届出関係

- ① ロービジョン検査判断料（平成25年4月1日）※新規届出
- ② 透析液水質確保加算2（平成25年5月1日）※新規届出
- ③ 体外照射呼吸性移動対策加算（平成25年5月1日）※新規届出
- ④ 人工乳房・組織拡張器（乳房用）使用（平成25年11月7日）※新規届出
- ⑤ 急性期看護補助加算50対1（平成26年3月1日）
※1月分実績が基準を満たせなかったため、3月1日付で取り下げを行ったが、2月分実績は基準をクリアしており、取り下げと同時に再申請を行ったことにより、特に減算措置等受けることなく対応が図れた。

その他、施設基準に係る新規・変更・辞退届出等、合計26項目の届出と定例報告を行った。

(13) 患者支援・医療連携センター

- ① 区中央部糖尿病医療連携検討会の事務局を患者支援・医療連携センターが担当した。
・総会、作業部会（4回）、市民公開講座、医療従事者対象研修会を開催した。
・市民向け広報紙を発行した。（平成25年8月～平成26年3月）
- ② 近隣医療機関へ医療連携強化のための戸別訪問を実施した。
・ソーシャルワーカー部門（9施設） ・医療連携部門（同窓会支部長訪問5施設）
（平成25年9月～平成26年3月）
- ③ 診療のご案内2013を発行した。（平成25年9月）
- ④ 子ども虐待対応チーム（CAPS）主催講演会を開催した。（平成25年9月）

- ⑤ FAX予約方式に代わるWeb予約方式の導入について検討を開始した。
(平成25年10月3日：国立埼玉病院へ見学実施)
 - ⑥ 患患連携強化のため、訪問看護ステーション戸別訪問（2施設）を実施した。
(平成25年10月～平成26年1月)
 - ⑦ 患者支援・医療連携センターだより「つなぐつながる」No.7を発行した。
(平成26年1月)
 - ⑧ 同窓会に協力を要請し、同窓開業医マップが同窓会ホームページからも参照できるよう整備した。
(平成26年2月)
 - ⑨ 同窓開業医マップの効果的活用を目的とした掲載医療機関の精査を開始した。
(平成26年3月)
 - ⑩ FAX予約枠を拡大するための作業を開始した。
(平成26年3月)
 - ⑪ 相羽副院長、常喜センター長のもと作業（検討会7回、調査訪問3施設）を進めた「患者支援・医療連携センター強化ワーキング」の答申を病院に上程した。(平成26年3月)
 - ⑫ 地域合同のオープン講座を専門看護師協力のもと開催した。
(平成26年3月)
- (14) 臨床試験支援センター
- ① 治験の実施：継続81件（前年比+27）、新規承認23件（-1）、終了28件（+7）
継続及び新規承認104件のうち、国際共同治験は35件（34%）であった。
 - ② 臨床研究への支援：5件
前年度からの継続試験では、被験者対応・症例報告書の作成を行った。また新たに支援を開始した試験では、被験者へのアンケート調査の実施と内容確認を担当した。
 - ③ SMO（治験施設支援機関）の派遣CRC導入治験：30件（28%）前年比+11件
定期的に新規治験の依頼がある皮膚科と、周手術期など短期間に業務が集中する医療機器の治験にSMOを導入し、治験実施をサポートした。
 - ④ 治験開始時のミーティングの開催：18件
 - ⑤ 外来プラズマ・ディスプレイへの治験・臨床試験関連の継続的な情報提供を行った。
 - ⑥ インターネット・ホームページを介して、一般市民向けおよび治験依頼者向けに、治験の情報提供や、治験契約に係る書類等の案内を掲載した。
- (15) 診療体制の整備
- ① 文書カウンターにおける代行登録の実施
医師事務作業の軽減の一環として、平成23年5月18日外来棟1階外来会計内に設置して、診断書の代行登録を実施している。平成25年度は、生命保険診断書の70%を代行登録するとともに、難病診断書（臨床調査個人票）のうち、4疾病（潰瘍性大腸炎・クローン病・再生不良性貧血・特発性血小板減少性紫斑病）の代行登録を開始した。また、生活保護要否意見書の代行登録に取り組むとともに、自賠責診断書の受付も一部は文書カウンターで受付を開始した。
 - ② 病棟関連事務業務効率化検討会
「病棟事務業務効率化3ヵ年計画」に沿って業務課事務員と看護部事務員の業務融合を進めてきたが、平成25年10月にE棟への業務課事務員配置を完了したことで、全病棟への事務員配置を完了した。平成25年度末には、2病棟3人体制への移行ができた。
 - ③ 病院救急車輛の運用
一般救急車（日産キャラバン平成24年8月6日納車）は平成25年12月13日に登録を千葉県へ変更し、柏病院へ移管を行った。移管後は高規格救急車（トヨタハイエース平成25年3月19日納車）1台を使用し、病院都合による患者搬送を15件行った。
- (16) 患者サービス
- ① 外来待ち時間調査を実施した。(平成25年11月21日)
 - ② 外来患者満足度調査を実施した。(平成26年2月17日～21日)
 - ③ 入院満足度調査を実施した。(平成26年2月1日～28日)

- ④ 入院患者向けフロアコンサート（高木会館1階ロビー）
 - ・平成25年8月26日（土）稲田達雄さん、貝島まことさん（日独交流コンサート）
 - ・平成25年10月5日（土）渡邊加奈さん、轅建友里さん、成田美紀さん（フルーツとオカリナ演奏）
 - ・平成25年12月14日（土）教職員等による有志
 - ・平成25年12月18日（水）原田真二さん（歌手）
 - ⑤ 患者向け広報誌「すこやかインフォメーション」第35号（平成25年4月）第36号（平成25年8月）第37号（平成25年10月）第38号（平成26年1月）を発刊した。
 - ⑥ 「新みんなの健康教室」を開催した。※NHK放送博物館と共催 宮崎
 1. 日時：平成25年5月9日（木）第10回（参加者合計：40名）
 2. 日時：平成25年7月11日（木）第11回（参加者合計：約100名）
 3. 日時：平成25年9月12日（木）第12回（参加者合計：約100名）
 4. 日時：平成25年11月14日（木）第13回（参加者合計：96名）
 5. 日時：平成25年1月16日（木）第14回（参加者合計：68名）
 6. 日時：平成25年3月13日（木）第15回（参加者合計：約120名）
 - ⑦ 不在者投票の実施
 - ・平成25年6月23日の東京都議会議員選挙に伴う入院患者不在者投票を、平成25年6月20日（木）を中心に実施し、54件の対応があった。
 - ・平成25年7月21日の参議院議員選挙に伴う入院患者不在者投票を、平成25年7月18日（木）を中心に実施し、70件の対応があった。
 - ・平成26年2月9日の東京都知事選挙に伴う入院患者不在者投票を、平成26年2月6日（木）を中心に実施し、98件の対応があった。
- (17) 医療安全講演会、シンポジウムの開催について
- 【初期臨床研修医対象】
- ① 平成25年4月3日 初期臨床研修医オリエンテーション
 - ② 医療安全研修医カンファレンス（小グループに分かれての警鐘事例の考察と発表）3回開催
- 【新規採用教職員・転入職員対象】
- ① 平成25年4月1日 新入職員オリエンテーション（全機関新入職員）
 - ② セーフティマネジメント基礎研修会 3回開催
 - ③ 中途採用者オリエンテーション 12回開催
- 【全教職員対象】
- ① 転倒・転落予防のための勉強会12月6日（金）
 - ② 平成25年4月25日（木）・5月29日（水）・10月3日（木）セーフティマネジメント基礎研修会
 - ③ 平成25年6月7日（金）・11月7日（木）・平成26年2月26日（水）
4病院合同セーフティマネジメントシンポジウム 3回開催
 - ④ 平成25年7月24日（水）・8月5日（月）・11月11日（月）防犯に関する講和
 - ⑤ 平成25年12月2日（月）第12回 慈恵医大褥瘡セミナー
 - ⑥ 平成26年1月29日 個人情報保護研修会
 - ⑦ 医療安全DVD研修会 4回開催
- 【委託・派遣職員対象】
- ① 委託・派遣職員向け医療安全研修会 4回開催
※その他医療安全講習会に関することは、医療安全管理部活動報告を参照
- (18) 医師のための緩和ケア研修会（年度2回）
- ① 第5回緩和ケア研修会 平成25年9月7日（土）～8日（日）於：大学管理棟4階研修室

修了者：医師17名（本学16名、他学1名）、参加者1名（看護師）

- ② 第6回緩和ケア研修会 平成26年2月8日（土）～9日（日）於：大学管理棟4階研修室
修了者：医師24名（本学18名、他学6名）、参加者1名（看護師）

(19) 慈恵ICLSコース、慈恵BLSコース

- ① 心肺停止患者に対する適切な救急蘇生の手技教育「慈恵ICLSコース」（年間5回）
（日本救急医学会認定コース、各機関持ち回りで年間5回開催、受講定員毎回24名）

日 時：平成25年5月25日（土）午後1時30分～午後6時 葛飾 参加24名

日 時：平成25年7月27日（土）午後1時30分～午後6時 本院 参加24名

日 時：平成25年9月21日（土）午後1時30分～午後6時 第三 参加36名

日 時：平成25年11月30日（土）午後1時30分～午後6時 柏 参加28名

日 時：平成26年1月18日（土）午後1時30分～午後6時 本院 参加24名

- ② 初期心肺蘇生術の講習会「慈恵BLSコース」を年間11回開催した。

日 時：平成25年5月11日（土）午後3時～午後4時50分 参加17名

日 時：平成25年6月1日（土）午後3時～午後4時50分 参加19名

日 時：平成25年7月5日（金）午後3時～午後4時50分 参加19名

日 時：平成25年8月3日（金）午後3時～午後4時50分 参加20名

日 時：平成25年8月12日（月）午後3時～午後4時50分 参加14名※E棟看護師

日 時：平成25年8月24日（土）午後3時～午後4時50分 参加15名※手術部看護師

日 時：平成25年9月7日（土）午後3時～午後4時50分 参加18名

日 時：平成25年9月27日（金）午後3時～午後4時50分 参加133名※新人看護師

日 時：平成25年10月5日（土）午後3時～午後4時50分 参加18名

日 時：平成25年10月10日（木）午後3時～午後4時50分 参加10名※E棟看護師

日 時：平成25年11月2日（土）午後3時～午後4時50分 参加21名

日 時：平成25年11月19日（土）午後3時～午後4時50分 参加13名※手術部看護師

日 時：平成25年12月7日（土）午後3時～午後4時50分 参加20名

日 時：平成25年12月14日（土）午後3時～午後4時50分 参加11名※手術部看護師

日 時：平成26年1月11日（土）午後3時～午後4時50分 参加18名

日 時：平成26年3月1日（土）午後3時～午後4時50分 参加17名

- ③ RRS運用に伴い、夜勤師長対象者に講習会を1回開催した。

日 時：平成25年11月14日（木）午後1時30分～午後4時30分 参加13名

- ④ 夏休み期間に、心肺蘇生に関する家族参加型市民公開講座をNHK放送博物館で開催した。

日 時：平成25年8月10日（土）午後1時00分～午後3時00分 参加40名

(20) 鏡視下手術トレーニングコース

鏡視下手術を行う外科系医師の育成、認定を行う独自の制度である鏡視下手術トレーニングコース認定試験（STEP1計4回、STEP2計5回、STEP3計2回）を実施した。

- (21) 東京都赤十字血液センターによる献血が実施された。

平成25年5月21日（火） 献血者68名（申込者数96名）

平成25年11月20日（水） 献血者65名（申込者数90名）

(22) 慈恵医大晴海トリトンクリニック

慈恵医大晴海トリトンクリニック（所長：加地正伸）

- ① 平成25年度の患者数実績は、1日平均外来患者数112.3人（昨年比-13.8人）、うち健診は23.3人（昨年比-0.8人）である。

(23) 保険診療講習会の開催

1回目 平成25年10月7日 中央講堂

2回目 平成26年2月17日 大学1号館3階講堂